

2015年度第1四半期業績のご報告

日本エマージェンシーアシスタンス株式会社

2015年5月13日

I . EAJ事業内容のご説明

EAJの目標

◇ EAJは「安心」を提供する企業です。

国際化を余儀なくされる日本経済にとって海外市場、とりわけアジア市場との関わりは避けて通れません。しかし、海外にいる時でも、日本と同じような医療を受けられることが保証されていたら、どれだけ安心でしょうか？

EAJは、クロスボーダー/クロスカルチャーで活躍するお客様に対して、言語や社会制度、カルチャーギャップのある海外でも、安心して医療などの必要なサービスを受けることができるように、現地のインフラとお客様の間に入って、コーディネートする仕事を行っています。

EAJは世界のあらゆる地域で「安心」をサポートできるよう業容を拡大し、お客様が安心して活動できる世界を広げます。

◇ 将来は、民間の領事館のようになりたいと思っています。

現在、海外にある日本領事館は、医療関係、事故などの対応窓口として海外で生活する日本人を保護する業務をしており、海外で暮らす日本人にとって大変重要な存在です。

けれど海外で欲しいサービスは様々です。EAJは民間であることを生かして高いレベルのサービスを提供し、海外で生活してビジネスを行う日本人が頼れる存在になりたいのです。

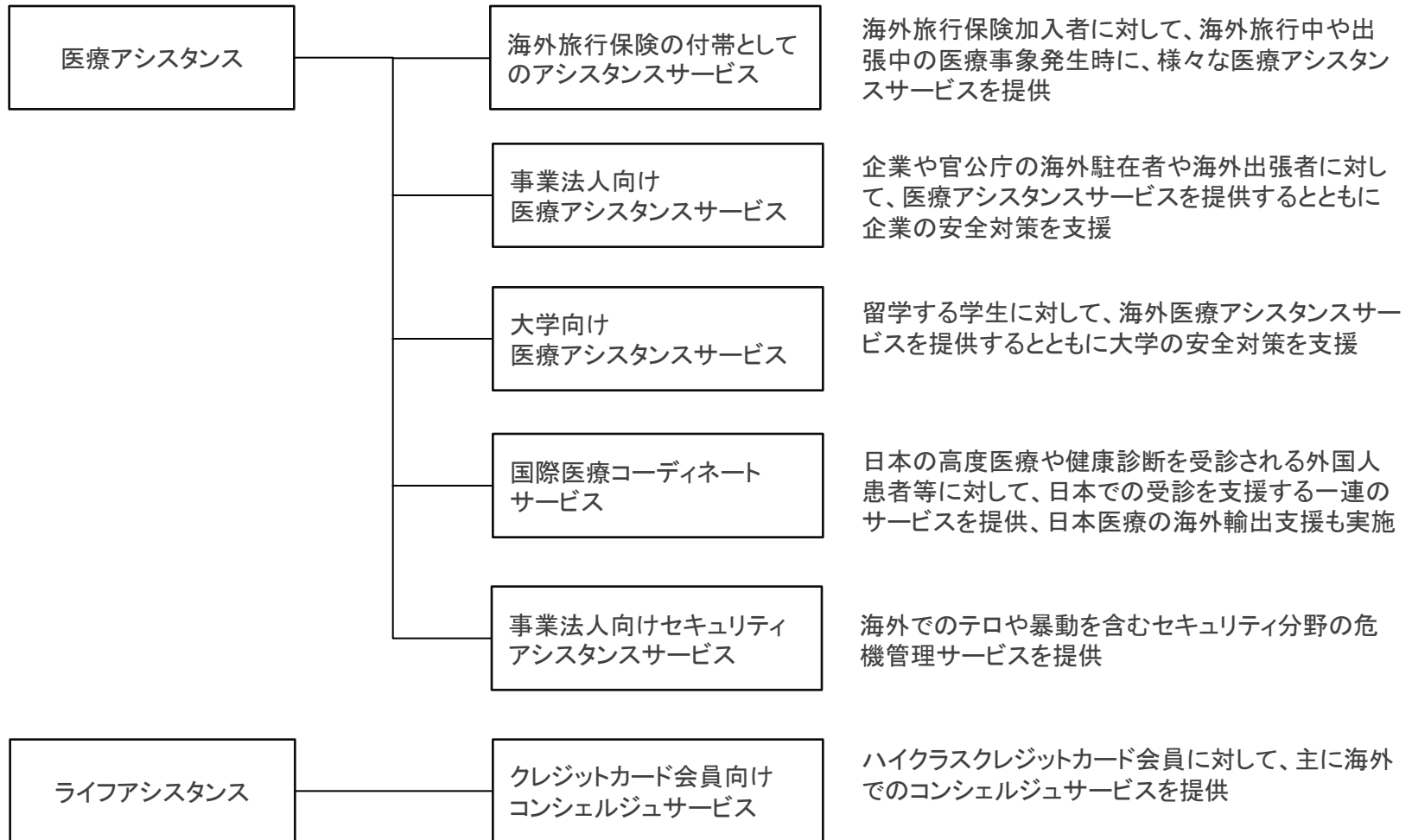
例えるならば、警察があっても民間警備会社があるように、日本郵便があっても宅配会社があるように、大使館・領事館があってもEAJがあるというような存在になりたいと思います。

そして、世界中どこでも安心と安全を提供できる企業を目指します。

当社事業

事業

展開する主なサービス概要



EAJのネットワーク網

- 7ヶ国に海外センターを配置（● 米国、中国、タイ、シンガポール、英国、フランス、バングラデシュ）
- 拠点数は全世界で13カ所、グループ要員数は310名
- 世界各国で提携関係にある11,025件の医療機関と4,128件の海外プロバイダーを活用しサービスを提供



※プロバイダーとは当社がアシスタンス業務において協力を依頼する機関を指します。

EAJのポジショニング

ビジネスモデル

- **少ない競合企業**
海外で病気や怪我をした患者様からの電話の受付、医療機関紹介から搬送までワンストップで実施する会社は日本企業では当社だけである。
- **高い新規参入障壁**
新規参入時に医療機関ネットワーク網の構築、バイリンガルのコーディネーター等優秀な人材の獲得・教育が必要であり、多額の初期投資がかかる。

独自性/強み

- **独自性**
日本資本で唯一アシスタンス事業を専業とし、世界規模でサービスを提供。また、上場している(東証JASDAQ)アシスタンス会社は世界でも稀である。
- **サービス品質の高さ**
複数の言語を話し、保険と医療に詳しい日本人スタッフを多く擁し、日本人ならではのきめ細かいサービスを提供。
- **医療の国際展開における中心的役割**
国家成長戦略の一分野である医療の国際展開において中心的役割を担い、外国人患者受入で業界でも主導的地位を保持(医療ビザ申請第1号企業)。

成長ポテンシャル

- 既存サービスにおける更なる収益力増強(リエンジニアリング、シェアアップ)
- 日本の医療の国際化に伴なう国際医療事業の拡大傾向
- アシスタンスインフラを生かした新しいサービスの展開
- セキュリティ・アシスタンスサービスの全世界での提供開始

Ⅱ. 2015年度第1四半期連結累計期間の決算報告

第1四半期の業績サマリー

- 売上高 753百万円(前年同期: 626百万円)
営業利益 48百万円(前年同期: △4百万円)
経常利益 45百万円(前年同期: △6百万円)

- 売上高は735百万円となり、前年同期比で20.2%の増収であった。
 - 医療アシスタンス事業の売上は前年同期比で23.1%増
 - ✓ 1~3月の海外出国者数については前年を下回ったが、当社のアシスタンスサービスに関する売上高(ケース売上)は前年を上回った。
 - ✓ 大型搬送案件等が比較的好調であった。
 - ✓ 法人契約、大学向け契約、外国人患者受入事業で今期は前年同月比で売上が増加した。
 - ライフアシスタンス事業の売上は前年同期比で5.1%増であった。
 - 既存顧客へのコンシェルジュサービスの着実な提供、2014年から実施した新サービスの提供、新規顧客へのサービス提供により売上が順調に推移している。

- 主として医療アシスタンス業務受注量の増加予想に対応するため、人材・ITへの投資費用が増加。円安による海外センター費用の増加もあり、費用総額は増加。しかしながら、「EAJリエンジニアリング」への取組などで想定費用以下に抑えられた結果、営業利益は48百万円となった。

第1四半期および直近のトピックス

- 経済産業省の産油国補助金に係る補助事業者に採択される

4月にアラブ首長国連邦(UAE)と日本の医療分野における協力強化事業において、平成27年度産油国石油精製技術等対策事業費補助金に係る補助事業者に採択される。

- ユナイテッド・ヘルスケア・グローバル社と業務提携

4月に米国のユナイテッド・ヘルスケア・グローバル社と業務提携し、従来はアジア限定で提供していたセキュリティ・アシスタンスサービスを全世界で提供できるようになった。この提携により、当社は医療アシスタンスとセキュリティアシスタンスを組合せ、海外のあらゆる地域でトータルリスク管理を「ワンストップ」で実施できるようになった。

- EAJリエンジニアリングの推進

円安等の厳しい環境の中でも利益を着実に出す組織改築の取組み「EAJリエンジニアリング」を全社を挙げて進めており、効率的な業務遂行を図るべくあらゆる部署で業務改善を実施し、費用の抑制に努めている。

第1四半期連結累計業績

(単位:百万円)

	前年同期 (売上高利益率)	第1Q (売上高利益率)
売上高	626	753
営業利益	△4 (△0.6%)	48 (6.4%)
経常利益	△6 (△1.0%)	45 (6.0%)
四半期純利益	△4 (△0.8%)	39 (5.2%)

売上高

-前年に比べ海外出国者数が減少傾向にあるものの、アシスタンスサービスに関する売上は前年比で増加し、法人・大学、インバウンド事業及びライフアシスタンス売上も好調であり前年比で増収となった。

費用

-サービス体制強化のための費用が増加
 ・グローバル人材の採用と教育
 ・医療機関ネットワークの拡充
 ・高機能通信機器への設備投資
 ・基幹業務システムの改修への投資
 -円安による海外センターのコストの増加
 -リエンジニアリングによる費用の抑制

セグメント別業績ハイライト

- 医療アシスタンス事業は、海外出国者数が減少したものの、アシスタンスサービスに関する売上（ケース売上）は前年同月比で増加した。
- 外国人患者受入に係る売上（インバウンド売上）は堅調に推移し、前年同期比で107%であった。
- ライフアシスタンス事業は、サービスの拡充および新規サービス提供開始により前年同期比で売上が増加した。

（単位：百万円）

	前年同期		第1Q	
	売上高	利益	売上高	利益
医療アシスタンス事業	526	50	648	107
ライフアシスタンス事業	99	30	105	27
調整額※	-	△85	-	△86
セグメント合計	626	△4	753	48

※ 調整額とは、各報告セグメントに配分していない全社費用のこと。

※ セグメント利益の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

第1四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2014末 (構成比)	第1Q末 (構成比)
総資産	1,995 (100%)	2,136 (100%)
流動資産	1,690 (84%)	1,831 (85%)
固定資産	305 (15%)	304 (14%)
流動負債	1,211 (60%)	1,343 (62%)
固定負債	189 (9%)	170 (7%)
参考:借入金残高	941 (47%)	991 (46%)
純資産合計	594 (29%)	622 (29%)

資産

-ビジネス規模の拡大に伴い売掛金および立替金が増加

負債

-事業規模拡大に伴い、金融機関からの借入金が増加
-損害保険会社等に関する前受金が増加

純資産

-当期純利益が発生
-配当金の支払いによる資本剰余金が減少

Ⅲ. 各種施策の取組み状況のご説明

2015年全社重点事業目標の進捗状況

全社重点事業目標

第1Qの進捗状況

EAJリエンジニアリング
— 構造改革で利益を上げる —

全社的なリエンジニアリングの取組みにより、全業務について少数精鋭での処理体制作りに取り組み第1Qの黒字化に貢献した。

情報基盤の早期完成と習熟度のアップ

全センターへの「新電話システムの導入」が完了。社員による習熟度を向上させ、品質の向上、効率化等を進める。

法人契約及び大学契約の価値増大
顧客群拡大への取り組み

企業や大学のリスク管理意識の高まりのもとに積極的な営業活動を展開した結果、前年同期比で売上増加。

国際医療インバウンド患者数の大幅拡大

中国で当社WEBサイトをオープン。今後は効果的なプロモーションの展開等により、中国からの患者数の増大を目指す。


国際医療アウトバウンド事業の効率化

アラブ首長国連邦(UAE)とおよびカタール国との日本の医療分野における協力強化事業を着実に遂行し、今期売上計上した。

各種施策に関する主要NEWS RELEASE

平成27年度産油国石油精製技術等対策事業費補助金に係る補助事業者の公募採択に関するお知らせ

NEWS RELEASE



2015年5月8日

各位

会社名 日本エマージェンシーアシスタンス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 吉田 一正
 (コード番号:8063 東京証券取引所JASDAQ)

平成27年度産油国石油精製技術等対策事業費補助金に係る補助事業者の公募採択に関するお知らせ

日本エマージェンシーアシスタンス株式会社(略称:EAJ、本社:東京都文京区、代表取締役社長:吉田一正、URL:<http://emergency.co.jp>)は、このたび、平成27年度産油国石油精製技術等対策事業費補助金(産油・産ガス国開発支援等事業のうち産油・産ガス国産業協力等事業に係るもの)に係る補助事業者の公募に採択されましたのでお知らせします。

http://www.enecho.meti.go.jp/appli/public_offer_result/1503/150331a/

当社が実施する事業の具体的内容は以下の通りです。

- アラブ首長国連邦(UAE)アブダビ首長国と我が国の医療分野における協力強化事業

当社は現地における日本の高度医療に関するセミナー運営や医療に関する国際交流を進めるなど、協力強化事業の管理全般を担い、日本の優れた医療サービスの継続的な訴求を行います。

日本の医療サービスの認知度を高めることで、アウトバウンド事業(医療技術・機器等の輸出)及びインバウンド事業(外国人患者の受入サポート等)を増やし、アラブ首長国連邦の医療の高度化に貢献し、同国と日本との関係強化を図るとともに、あわせて日本の医療の国際展開を支援いたします。

■本件に関するお問合せ先
 管理部 IR室
 電話:03-3811-8121

以上

中国のインターネット上でEAJのWEBサイトをスタート。中国人に日本の高度医療を紹介し、EAJがコーディネートを実施。



日本政府認定の医療留签证の身份担保机构

咨询热线 010-8586-0748

首页 HOME
日本医疗特征 FEATURES
威马捷的优势 STRENGTH OF EAJ
具体案例 RESULTS
常见的问题 FAQ
关于我们 ABOUT US



本政府首家认定的医疗留签证的身份担保机构
 治疗为目前的世界最先进的日本医疗
 查看日本的医疗技术



日本治病
强大的网络及人脉



服务内容
介绍服务流程



医疗居留签证
详看常见的问题



咨询
专业的工作人员为您提供中文服务

关于威马捷

日本威马捷株式会社 Emergency Assistance Japan Co., Ltd.

日本威马捷株式会社成立于1974年，是日本国内规模最大的公司之一。通过威马捷提供的过激以及完善的服务，成为日本第一等得到政府认证的医疗留签证身份担保机构。除与日本国内的多家著名医疗机构保持密切的合作关系。在帮助海外患者在日本进行先进治疗的行业一直处于领先地位。我们的使命是为患者在日本接受先进治疗的海外患者提供协助。我们致力于让患者能够顺利地在日本接受治疗，提供日本高水平的出国前、在日本看病期间、回国后的一站式服务。我们先进的体制充分让患者“安心”接受医疗。

治疗实例

肺癌	肝脏恶性肿瘤	肾衰竭	先天性心脏病
食道癌	舌上肿瘤	子宫内膜癌	脑胶质瘤

Medical Access Japan

日本威马捷株式会社提供的医疗留签证服务，我们为海外患者提供贴心的服务。

威马捷美国医疗协会 Medical Tourism Association 的会员机构。威马捷通过平台与在中国大陆地区。

IV. セキュリティ・アシスタンス等について

ユナイテッド・ヘルスケア・グローバル社との業務提携

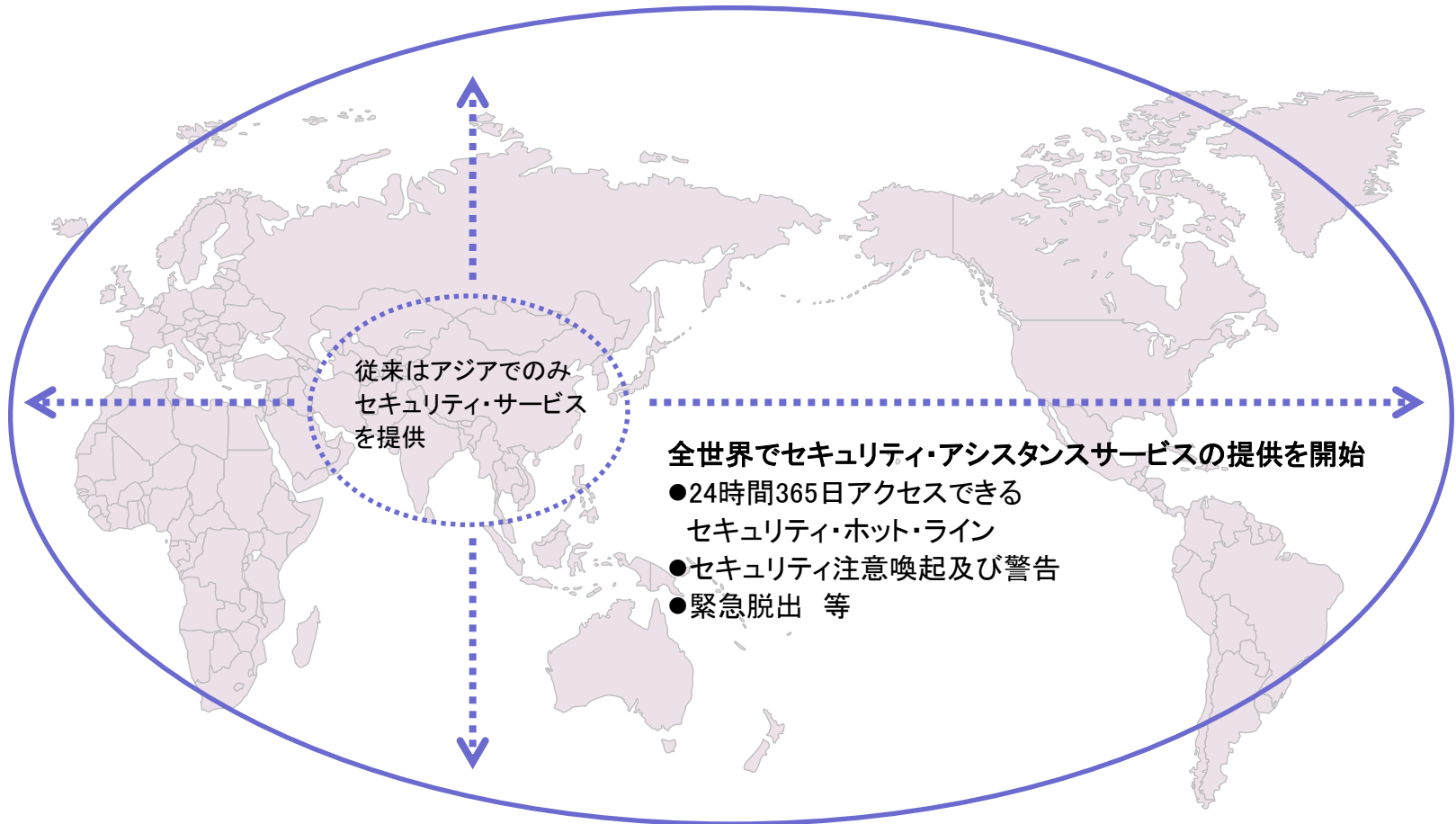
- 当社の法人向けセキュリティ・アシスタンス商品は4月からのユナイテッド・ヘルスケア・グローバル社(UHCG)との提携により全世界でセキュリティアシスタンスサービスの提供が可能になる(従来は、アジア地域で事業を展開する日本企業に限定してサービスを提供)。
- 海外医療アシスタンスを通じて培われた当社の危機管理支援ノウハウとUHCGのセキュリティリスク管理能力を融合し、セキュリティリスク・ソリューションを提供する。
- 医療アシスタンスとセキュリティアシスタンスを組合せることでトータルリスク管理をEAJで「ワンストップ」で実施できる。



※ユナイテッド・ヘルスケア・グローバル社は、米国ミネソタ州に本社を置く同国最大手の医療保険会社ユナイテッド・ヘルス・グループ(NYSE: UNH)の関連会社で、医療及びセキュリティ・アシスタンスをはじめとする保健ソリューションを世界125か国でクロスボーダー展開しております。

全世界でセキュリティ・アシスタンスサービスを提供

- ユナイテッド・ヘルスケア・グローバル社(UHCG)との提携によりセキュリティ・アシスタンスを提供できる範囲がアジアから全世界へ広がる。



EAJのセキュリティリスク管理対応プロセス

マネジメント領域(定常時)

対応領域(非常時)

渡航前のアシスタンス提供

- ・ 在勤者人選(適性評価、健診)
- ・ 現地の基本リスク情報収集
- ・ 顕在リスクに基づく脅威マップ策定
- ・ 現地生活上のTo Do & Not To Do徹底
- ・ 潜在リスクの予見
- ・ リスク・シナリオに基づく危機対応計画(国外避難計画等)の策定
- ・ 渡航前教育訓練による周知徹底

定常時のアシスタンス提供

- ・ リスク情報のリアルタイム収集
- ・ 現状リスクの解析・評価
- ・ 現地事業所や現地への渡航者とのTwo way コミュニケーションラインの確保
- ・ 渡航者トラッキング
- ・ 情報開示・提供と指示
- ・ 危機対応計画の有効性検証(想定訓練等の実施)

非常時のアシスタンス提供

- ・ 脅威の認識と危機の予見
- ・ 現地事業所への段階的警告発出と都度の安否確認
- ・ 現地において危険を回避する行動の指揮命令
- ・ 早期避難の実行
- ・ 最終避難の実行と現地保安要員の安全確保
- ・ 現地状況の継続的モニター

リスクマネジメントのサポート

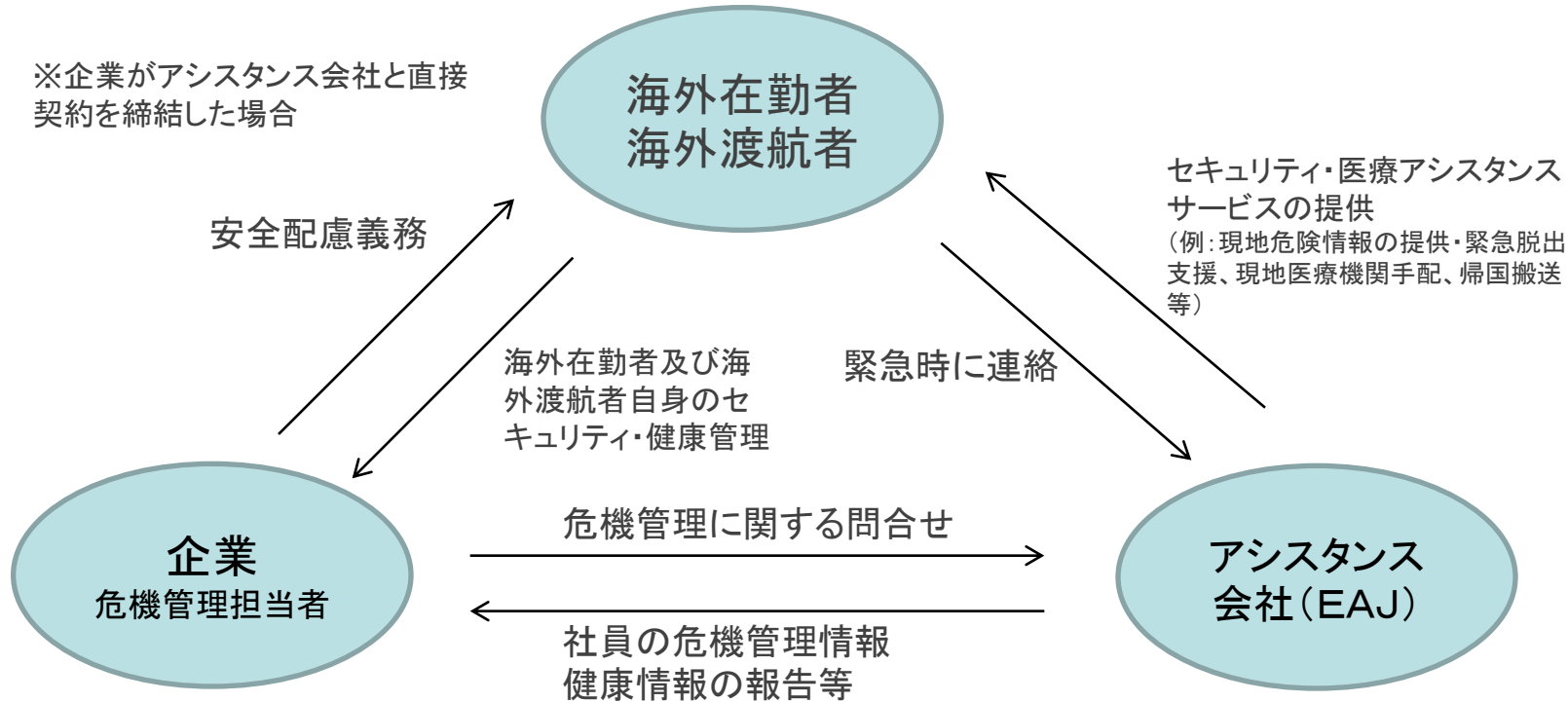
緊急国外避難のプロセス

海外で増大するリスク

- 海外では以下のようなビジネスリスク・医療リスクが発生する。
- グローバル化の進展により、海外在勤者及び海外渡航者が現地で遭遇するセキュリティ・リスクの量は増大し、多様化・高度化・複合化している。
- ◆ **Political Risk(政治的リスク):**
 - ・ 内戦・革命・クーデター、体制の変更、政権の移行、政策の急変
- ◆ **Economic Risk(経済的リスク):**
 - ・ 通貨切り上げ、為替の急変、金融システムの不全
- ◆ **Legal Risk & Enforcement Risk(法制及び執行リスク):**
 - ・ 法令・規制の改悪、裁量的な行政や司法の執行
- ◆ **Social Risk(社会的リスク):**
 - ・ 環境保護団体やコミュニティによる環境保護主張活動によるプロジェクトの中断や取り消し
- ◆ **Infrastructure Risk(インフラリスク):**
 - ・ 交通路・港湾(陸路、海路、空路)の遮断、サプライチェーンの寸断
- ◆ **Integrity Risk(信頼性リスク):**
 - ・ 現地パートナー不適、内部者による腐敗行為、誹謗・中傷、海外腐敗行為防止法違反
- ◆ **Intellectual Property Risk(知的財産リスク):**
 - ・ 知的財産等の流出・盗難と他者による流用・盗用、逆訴訟
- ◆ **Security Risk(治安リスク):**
 - ・ テロ、暴動・デモ・反体制運動、暴行・拉致・誘拐、強盗・窃盗、労働争議
- ◆ **Medical Risk(医療リスク):**
 - ・ 不十分な衛生・医療インフラ、風土病・感染症、生活習慣病、メンタルヘルス、環境汚染、交通事故
- ◆ **Natural Disaster Risk(自然災害リスク):**
 - ・ 地震・津波、台風・洪水、干ばつ、豪雨、噴火、飢饉

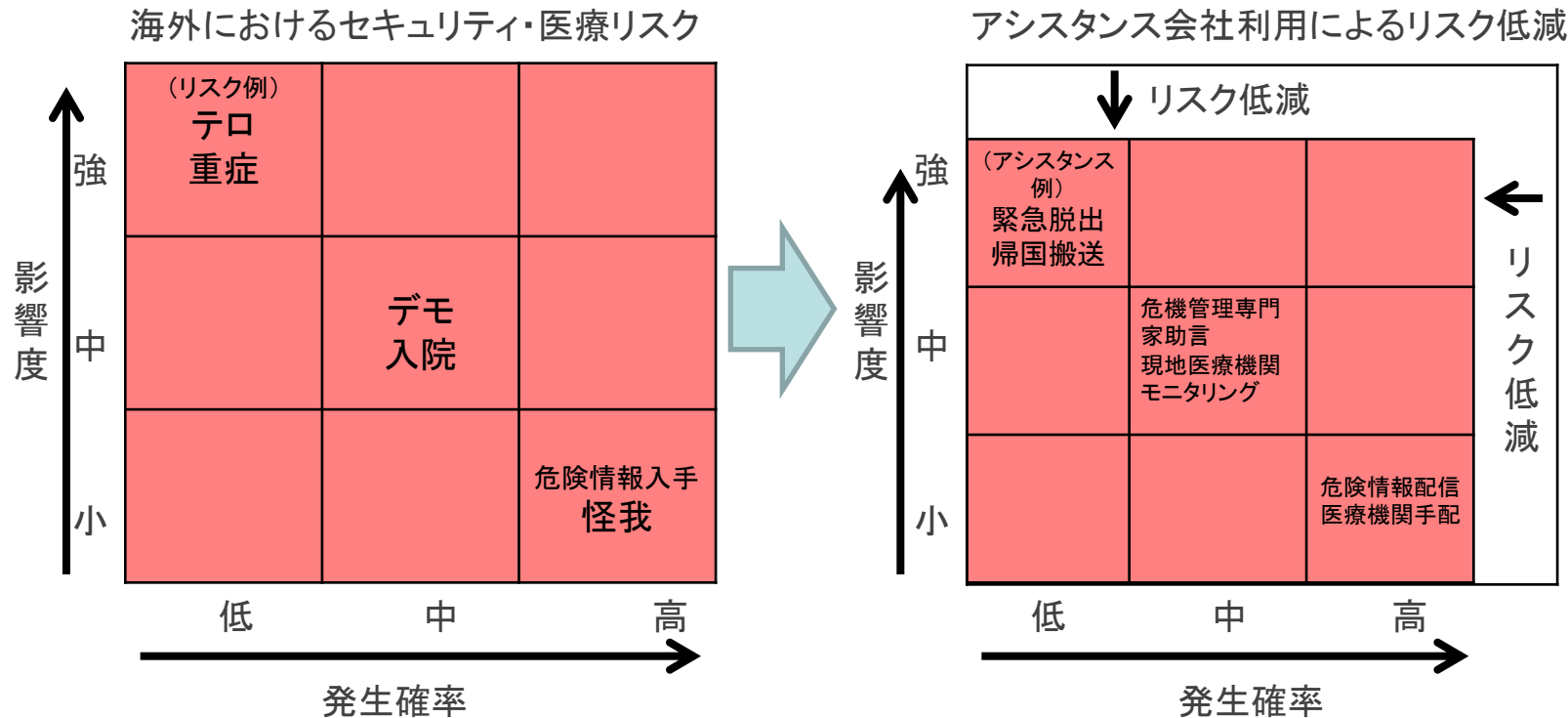
海外リスクに対しアシスタンス会社を利用することのメリット

- 企業は海外在勤者及び海外渡航者に対して安全配慮義務を負うが、アシスタンス会社からセキュリティや医療に関する専門的なサービスを受けることでリスクヘッジ、コスト節減が可能となる。
- アシスタンス会社は海外在勤者及び海外渡航者にアシスタンスサービスを提供し、本社の危機管理担当者に情報を提供することでクライアントに安全・安心を提供する。



アシスタンス会社利用で海外リスクを低減

- 企業や大学は海外のセキュリティ・医療リスクをアシスタンス会社を利用することで低減することができる。
- セキュリティ・医療リスクの低減は長期的に見れば企業・大学のコスト削減につながる。



※リスク低減効果はイメージであり、ある一定のパーセンテージを保証するものではありません。

当社が法人に提供するサービス

セキュリティサービス

- ◆24時間365日アクセスできるセキュリティ・ホット・ライン
- ◆セキュリティ上の注意喚起及び警告のメール配信(全世界対象)
- ◆セキュリティ・プロフェッショナルによる電話アドバイス
- ◆現地セキュリティ・プロフェッショナルの動員によるアシスタンス・サービス
現地の治安状況が悪化した際、最寄りの安全適地への 緊急国外避難支援

海外24時間医療アシスタンスサービス

- ◆海外における現地病院の紹介・予約
- ◆電話による医療通訳サービス
- ◆入院費・治療費の支払保証・支払代行
- ◆治療状況のモニタリング・セカンドオピニオンの提供
- ◆通訳の派遣
- ◆緊急医療搬送(近隣医療先進国・日本への搬送)

海外医療コンサルティングサービス

- ◆事業進出拠点の保健衛生状況調査
- ◆信頼できる医療機関調査
- ◆万が一の場合の緊急対応計画とその必要経費などの事前調査

■【今週のトピックス】■

◎ ネパールの地震(5月4日現在)
ネパールでは4月25日、マグニチュード7.9の大地震により同国中心部に甚大な被害が生じました。救援活動も開始されましたが、救援物資配送の遅延に対する被災住民の不満も高まっており、被災住民が救援物資を運ぶ車列を襲撃する事件も報告されています。
航空便は国際線及び国内線も満席状態で、地上移動手段も限られています。
ネパールの社会生活が正常に戻るまでにはかなりの日数がかかる可能性があります。メディアの報道を総合すると5月4日現在の状況は次のとおりです。
◇ 概況
首都カトマンズでは、屋外に避難していた被災者が破損した自宅に戻ってきている。しかし住む家を失った数千人が長期間に亘り仮設テントで生活する状況が続く可能性が高い。
ライトプール郡(Lalitpur)、バクタプール郡(Bhaktapur)、ダディン郡(Dhading)、ゴルカ郡(Gorkha)、ヌワコット郡(Nuwakot)

セキュリティ関連情報例

緊急移送プラン 2

【定期便で搬送不能 / グラムで治療できない場合】

【飛行時間と費用】 二名の医療者費用込み
グラムから手配の場合：
Pohpei ⇒ Tokyo / 6.0h / 70,000 - 78,000 USD
Pohpei ⇒ Guam ⇒ Manila / 6.5h / 64,000 - 71,000 USD
Pohpei ⇒ Guam ⇒ HK / 7.5h / 80,000 - 87,000 USD

香港から手配の場合：
Pohpei ⇒ Guam ⇒ Tokyo / 7.0h / 80,000 - 98,000 USD
その他ルート確認中

チャーターフライトはグラム又は香港のチャーターフライト会社に依頼し最も早く手配できる機材を調達。
バンベイ ⇒ 東京 : 約3,700km (赤色)
バンベイ ⇒ グラム : 約1,640km (赤色)
グラム ⇒ 香港 : 約3,380km (緑色)
グラム ⇒ マニラ : 約2,560km (白色)

【受入先病院候補】
日本： 厚生労働省と提携し希望病院と交渉
マニラ： Makati Medical Centre 所在地： 2 Amorsolo cor. Dela Rosa St. Makati City, Metro Manila 連絡先 +63-2-889-8999
香港： Hong Kong Adventist Hospital (香港安老醫院) 所在地： 40 Shatin Road, Hong Kong 香港司徒拔道40号 連絡先 +852-2574-6211



緊急医療対応計画のシュミレーション例

アシスタンスで世界を広げる

本説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらの不確実性には、業界ならびに市場の状況、金利、為替変動、国内外の事業に影響を与える政府の法規制といった国内及び国際的な経済状況などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

また、当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断において行われるようお願いいたします。

Copyright ©Emergency Assistance Japan Co., Ltd. All Rights Reserved.

日本エマージェンシーアシスタンス株式会社